

科目名	演習2							年度	2025		
英語科目名								学期	後期		
学科・学年	放送芸術科 1 年次			必／選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	長濱和久、金井高広、笹本篤、草間巧、石田桃子				教員の実務経験		あり	実務経験の職種		放送映像業界全般	
【 科目の目的】											
この実習を受講する学生は、ローテーション実習で各コースの基礎や本質を体験することで、自分自身の興味や適性を見出し、将来のビジョンを明確にすることができる。さらにすべてのコースの基礎も経験できる為、自分自身のスキルアップにも活かすことが可能となる。											
【 科目の概要】											
この授業では、コミュニケーションを養うために、チームで協力をする機会を多く作る。より多くの学生に映像制作の魅力や仕事内容を伝えられるように意識をしながら進める。初めから他のコースを選択しないと決めている学生にとっても、基礎となる部分を分かり易く修得できるように心掛け映像制作に活かせる技術を学びます。 ※ローテーション実習は学生を6 班に分け、各コース5回行う。											
【 到達目標】											
この実習では、どの職種が自分自身に合っていて、関心を持つことができるのかを、実際に機材に触り体験することで明確にすることを目標とする。さらに、明確になった後はコース別に実習を行い「基礎・応用」を学び「技術力・問題解決能力・発想力」を身につけ、映像制作に活かせるようになることが目標である。											
【 授業の注意点】											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会に出てからのマナーやコミュニケーションといったことも重視して授業を受けるように促す。（詳しくは、最初の授業で説明）授業出席率の注意を都度促す。ただし、授業時数の4 分の3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう		レベル1 要努力						
到達目標 A カメラ	スタジオカメラ、ENGカメラを正しく操作出来る		スタジオカメラ、ENGカメラをある程度操作出来る		スタジオカメラ、ENGカメラを操作できない						
到達目標 B 制作	制作業務を正しく実行できる		制作業務をある程度実行できる		制作業務を理解していない						
到達目標 C 音声MA	音声収録機器とMA機器を正しく操作出来る		音声収録機器とMA機器をある程度操作出来る		音声収録機器とMA機器を操作出来ない						
到達目標 D 照明	照明機器を正しく操作出来る		照明機器をある程度操作できる		照明機器を操作できない						
到達目標 E 編集	編集機器を正しく操作出来る		編集機器をある程度操作出来る		編集機器を操作出来ない						
到達目標 E 美術	美術スタッフ業務を正しく実行できる		美術スタッフ業務をある程度実行できる		美術スタッフ業務を実行できない						
【 教科書】											
【 参考資料】											
【 成績の評価方法・評価基準】											
実技 50%レポート 25%平常点 25%											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		演習2			年度	2025
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	カメラ実習①		スタジオカメラ	スタジオのカメラとVE・SW卓の操作		
			SW、VE	台本からの的確なカメラワーク		
2	カメラ実習②		ロケカメラ	ENGカメラの安全な操作		
				台本からの的確なカメラワーク		
3	制作実習①		企画	自ら企画を立てる 企画書作成		
			企画書・脚本	脚本の作成		
			準備	撮影までの確認 準備 申請書類		
4	制作実習②		キャスティング	キャラクター造形 人選		
			撮影	スケジュール管理 安全な撮影		
			仕上げ	素材確認 権利処理		
5	照明実習①		機材名称確認	照明機材の名称や使い方を修得する		
			安全講義	ボタン操作と安全確保		
6	照明実習②		灯体吊り込み	基本となる照明機材の安全な吊り方、		
			バラシ	バラシ方を修得する		
7	音声実習		機材名称確認	マイクの種類、機材を理解		
				安全で的確なマイク選びと操作		
8	MA基礎			protocol sの操作		
				ナレーション録音を的確に安全に行う		
9	編集基礎①		機材名称確認	編集技法、映像制作フローを理解する		
			Adobe Premi ere	基本的な繋ぎやエフェクトを操作できる		
			Adobe	基本的なテロップ、素材を作成		
10	編集基礎②		Adobe Premi ere	編集ソフト、画像加工ソフトを使用して		
				目的を持った作品を制作		
11	編集基礎③		DaVi nci Resol ve	編集ソフト、画像加工ソフトを使用して		
				よりハイレベルな作品を制作		
12	美術基礎①		図面作成	図面の種類、平面図図式、線の引き方を学び		
				脚本からイメージした平面図を作成する		
13	美術基礎②		パネル作り	安全に的確に図面から工作物を作成		
			台組み	安全に撮影セットを構築する		
14	情報番組制作①		総合実習	決められた台本に沿い進行		
				スケジュール管理と安全性を問う		
15	情報番組制作②		総合実習	決められた台本に沿い進行		
				スケジュール管理と安全性を問う		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S: とてもよくできた、A: よくできた、B: できた、C: 少しできなかった、D: まったくできなかった